

香川県県民ホールの指定管理者

香川県県民ホールの指定管理者の公募を行い、香川県県民ホール指定管理者評価委員会での評価結果を踏まえ、総合的に判断した上で、候補者を選定し、令和7年11月香川県議会での指定の議決を経て、次のとおり指定管理者を指定しました。

1 申請団体数

1 団体

2 申請期間

令和7年9月5日から令和7年9月19日まで

3 指定管理候補者

穴吹エンタープライズ株式会社（高松市古新町）

4 指定期間

令和8年4月1日から令和15年3月31日まで（7年間）

5 評価委員会における評価結果

申請者から提出された書類の確認やプレゼンテーションを実施し、総合点数方式により評価した。

(1) 評価基準

評価基準及び観点	配点ウエイト
(1) 利用者の平等な利用が確保されていること。 不当な利用制限項目の有無	(確保されない場合は、失格)
(2) 施設の設置目的を効果的に達成し、サービスの向上が図られるものであること。 ①施設の設置目的との適合性 ②利用者に対するサービスの向上 ③施設の利用促進への取組み ④その他新規、魅力的な提案の有無	25
(3) 施設の管理経費の節減が図られるものであること。 ①当該施設の管理運営に係る県の経費 原則として申請者からの提案額アと最低提案額イにより評価する。 <計算式>【申請者の点数】=15×イ／ア ②実現の可能性（経費節減の具体的な内容）	15
(4) 申請者が事業計画の内容を安定して遂行できる能力を有していること。 ①申請者の実績 ②人的能力（管理運営組織） ③物的・人的能力（経営基盤） ④申請者の安定性・信頼性 ⑤申請者の取組み姿勢 ⑥個人情報の適正な取扱いの確保 ⑦関係法令等の遵守や利用者等の安全の確保 ⑧文化事業（地域の文化振興にも配慮）を実施する能力 ⑨レストラン等の継続的な運営	40

(5) 地域経済の活性化や県内雇用の確保に配慮されていること。 ①県内に本店又は主たる事務所を有する法人であるか ②県内雇用の確保等	10
(6) 改修工事に伴う適切な対応が図られるものであること。 ①改修工事に係る関係者及び利用者に対する適切な対応 ②改修工事期間（貸館の休止期間）における管理経費の節減 ③改修工事期間（貸館の休止期間）を利用したサービス向上や利用促進の取組みの提案	10

(2) 評価委員会の開催経緯

- ・第1回評価委員会（R7.9.26～9.30）
 - 上記期間中に、香川県県民ホールの概要説明、申請内容等の確認
- ・第2回評価委員会（R7.10.9）
 - プレゼンテーション、事業計画書の評価

(3) 評価結果

	穴吹エンタープライズ株式会社
平均得点	74.5

- ・評価基準(1)について、利用者の平等な利用が確保できるものと評価された。
 - ・評価基準(2)について、既存サービスを継続するとともに、社会包摂的文化施設の確立としてアクセシビリティ相談窓口の設置や館内表示多言語化の実施、全施設をインターネット予約に対応した新貸館管理システムやPayPay等QRコード決済の導入など、利用者サービスの向上が図られるものと評価された。
 - ・評価基準(3)について、管理経費はデジタル化による、印刷製本費の削減等が図られているが、昨今の物価や賃金の上昇により増加している。
 - ・評価基準(4)について、現指定管理者としての実績があり、サービス介助士、学芸員、看護師、保育士等の多様な資格を保有するスタッフによる組織体制の継続など、安定して業務を遂行できるものと評価された。
 - ・評価基準(5)については、県内に本店を有する法人であり、委託業者の選定には専門知識、技術力、委託金額及び実績を重視しつつ、地元企業を優先的に選定し、県内雇用の確保等に配慮されているものとして評価された。
 - ・評価基準(6)については、改修工事中でも開館している施設への振替プランの実施や、県民ホール外でのアウトリーチ活動等を行うことが評価された。
- ※なお、維持管理業務委託料等の管理経費については現時点で休館期間を踏まえての削減が図られているが、改修工事の実施計画が固まった時点で再度委託料を精査するものとする。

6 事業計画の概要

(1) 現行の管理との比較

	事業計画	現 行
開館時間	現行どおり	9:00～22:00 (8:00～9:00、22:00～23:00 の延長可能)
休館日	現行どおり	年中無休
県からの年間委託料	(指定予定期間中の平均) 291,893千円（税込）	(指定期間(R3年4月～R8年3月)中の平均) 243,547千円（税込）

※ 委託料の主な増加要因は、昨今の物価上昇や最低賃金の上昇を含む賃金水準の上昇や、県の文化振興を推進する公立文化施設の運営を担う、優秀な人材の確保や人材育成機能拡大等の影響によるものである。

注) 事業計画は、確定したものではなく、今後変更する可能性がある。

(2) 利用者サービス向上策

- ・社会包摂的文化施設の確立としてアクセシビリティ相談窓口の設置や館内表示多言語化の実施、地元障がい者団体、福祉施設、外国人支援センター等との連携強化を図る。
- ・全施設をインターネット予約に対応した新貸館管理システムやPayPay等QRコード決済の導入を図る。
- ・チャージスポットを設置し、スマートフォンの充電ニーズに応え、停電・災害時の一時的な通信手段の確保を図る。
- ・福祉施設等への派遣型アウトリーチ（出張コンサート、イベント等）や、校外学習の場としてコンサートを提供するインリーチ活動を継続し、幅広い層への舞台芸術の鑑賞機会を提供する。
- ・地域の文化資源を生かした市民参加型の新作舞台の創造として、香川県出身の芸術家とともに、市民オーケストラ及び市民合唱団による音楽表現を取り入れた舞台作品の企画・制作を図る。
- ・ISO10002（苦情対応マネジメントシステム）の継続運用、顧客満足度調査の実施と分析等により、利用者ニーズの把握やP D C Aサイクルによる運営体制を構築し、サービス水準と顧客満足度の向上を目指していく。

(参考) 評価委員会委員

	役職名	氏名
委員長	香川県政策部文化芸術局長	吉川 健司
委員	学校法人四国学院理事長	橋本 一仁
委員	公認会計士	内橋 翔
委員	社会保険労務士	大橋 義弘
委員	香川県文化芸術局文化振興課長	織田 浩幹